

《最近の県内経済》 (2025年1月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



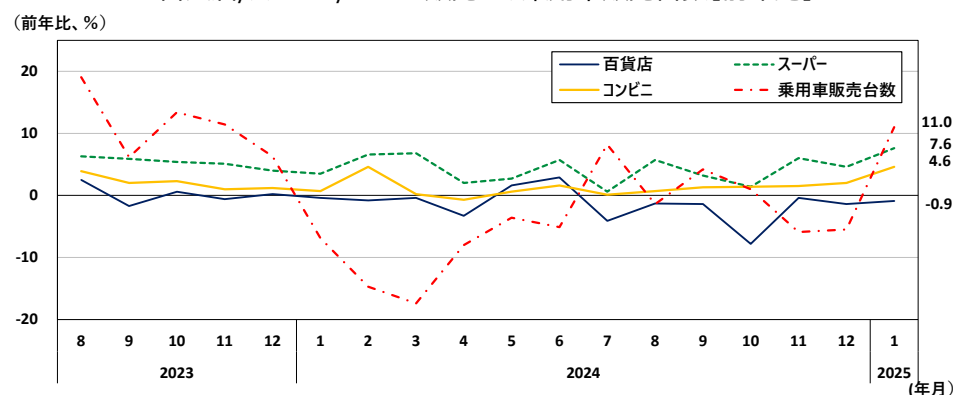
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



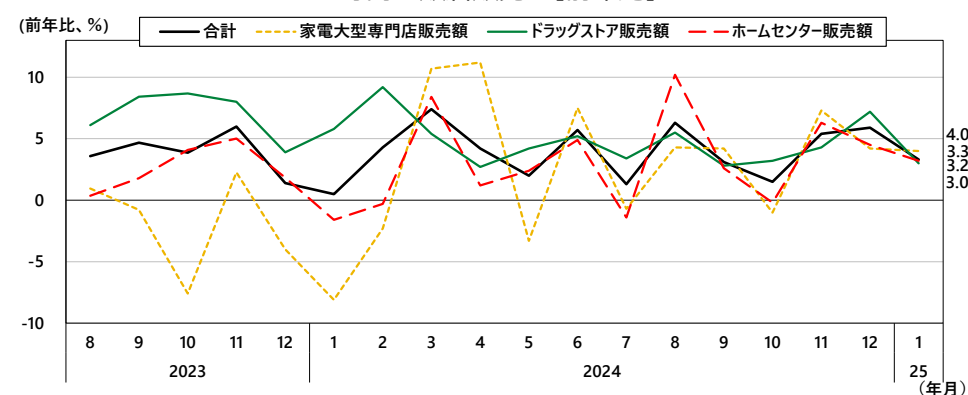
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

1月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は122億円で前年比0.9%減（7か月連続の減少）、スーパーは1,113億円で同7.6%増（28か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は568億円で同4.6%増（9か月連続の増加）となった。生鮮品や米価格の高騰などにより、惣菜需要の高まりが売上に寄与した。

また、乗用車販売は、前年比11.0%増と3か月ぶりの増加となった。内訳をみると、普通車が同3.2%増（7か月連続の増加）、小型車が同20.7%増（3か月ぶりの増加）、軽自動車が同16.9%増（6か月ぶりの増加）とそれぞれ増加した。前年の検査不正に伴う生産減の反動や2024年11月から適用された保安基準改正の対応が進んだことが背景にある。

1月の専門量販店販売額は789億円で前年比3.3%増と28か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が194億円で同4.0%増（3か月連続の増加）、ドラッグストアが426億円で同3.0%増（32か月連続の増加）、ホームセンターが170億円で同3.2%増（3か月連続の増加）となった。

家電専門店ではエアコンなどの季節家電、ドラッグストアでは調剤医薬品など、ホームセンターでは季節商品、園芸・エクステリア関連が好調だった。

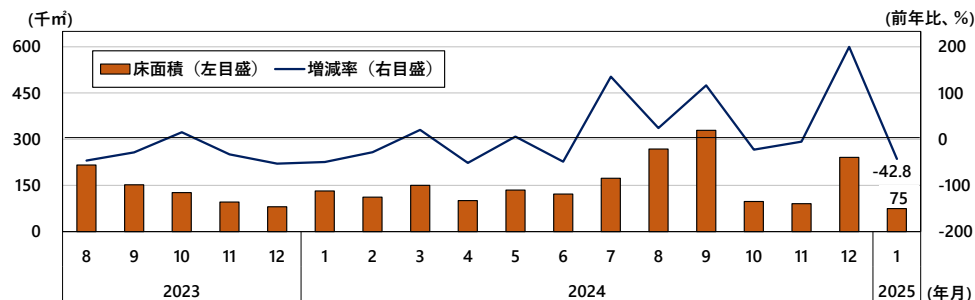
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、12月〈36.8〉、1月〈35.8〉、2月〈35.4〉と推移している。

2 設備投資～持ち直している



前月比

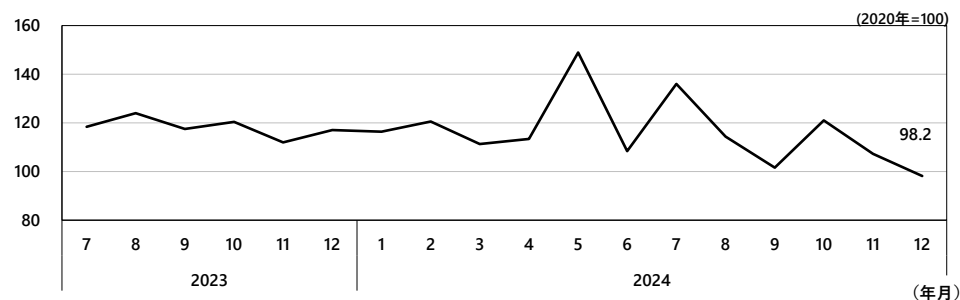
民間建築着工床面積(非居住用)



(資料) 国土交通省

1月の民間建築着工床面積(非居住用)は、75千㎡で前年比42.8%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では、前年比42.2%増加)。用途別にみると、事務所、工場及び作業場、学校の校舎は増加したものの、店舗、倉庫、病院・診療所はいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

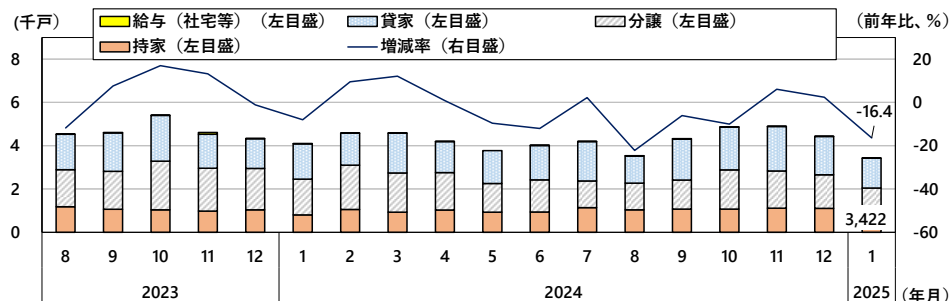
12月の資本財出荷指数(季節調整済)は98.2で、前月比8.5%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均も、前年比7.6%減少)。当研究所が2024年8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している(全産業前年比+25.3%)。

3 住宅建設～弱含んでいる



前月比

新設住宅着工戸数



(資料) 国土交通省

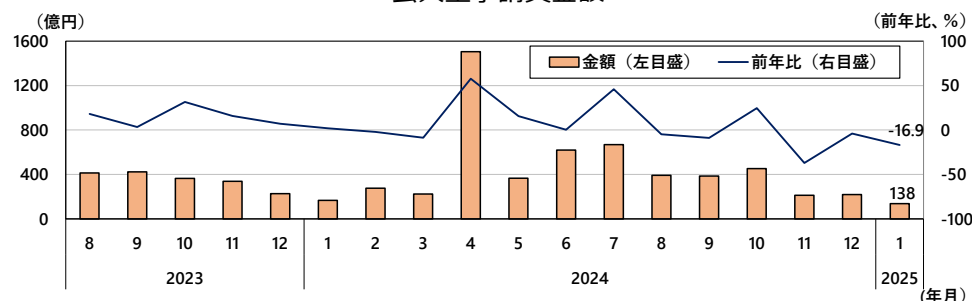
1月の新設住宅着工戸数は、3,422戸で前年比16.4%減と3か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均でも4.8%減)。利用関係別にみると、持家(830戸)が同2.6%増となったものの、貸家(1,373戸)は同15.9%減、分譲マンション(249戸)は同56.6%減、分譲一戸建て(945戸)が前年比11.8%減となった。

4 公共工事～底堅く推移している



前月比

公共工事請負金額



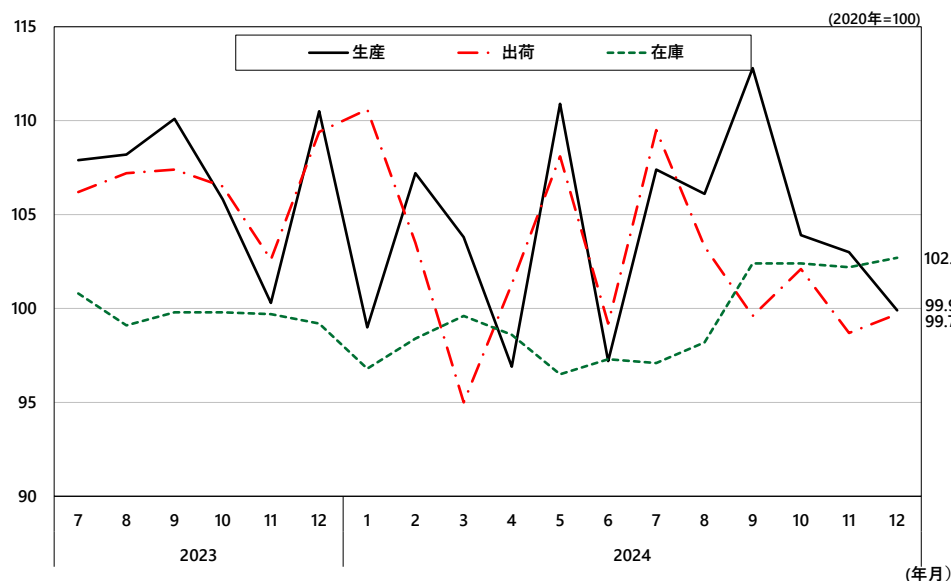
(資料) 東日本建設業保証株式会社

1月の公共工事請負額は138億円、前年比16.9%減となった(3か月連続の減少)。5か月後方移動平均でも前年比7.3%減で推移。発注者別の前年比をみると、国、市区町村は増加したものの、独立行政法人等、都道府県は減少した。

5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



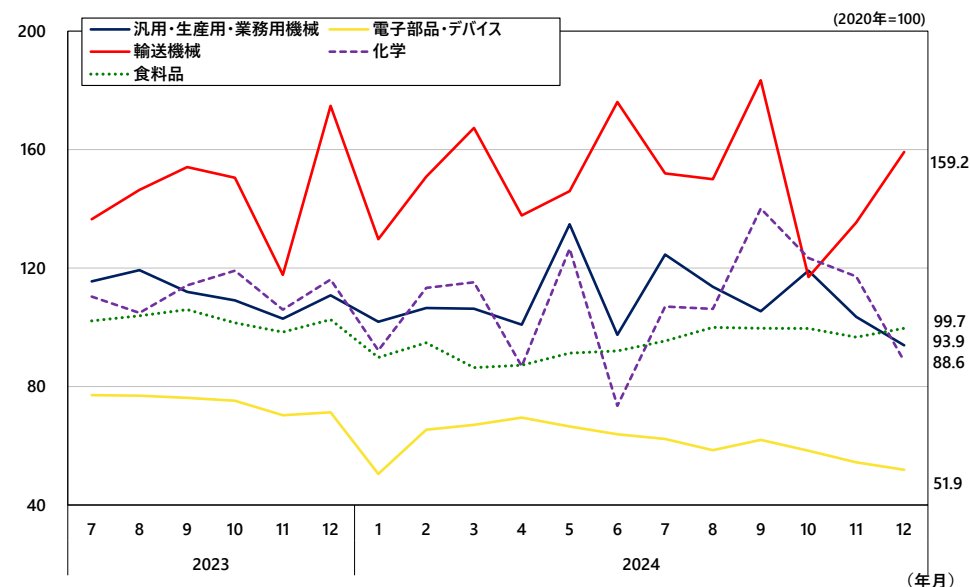
(資料) 埼玉県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、99.9で前月比3.0%低下した(3か月連続の低下)。輸送機械(普通トラック、乗用車)、食料品(アイスクリーム、チョコレート類)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが低下した。

出荷指数(同)は、99.7で同1.0%上昇(2か月ぶりの上昇)。生産用機械(半導体製造装置、研削盤)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが低下したが、化学(医薬品、ウレタンフォーム)、輸送機械(普通トラック、機関部品)などが上昇した。

在庫指数(同)は、102.7で同0.5%上昇(2か月ぶりの上昇)。金属製品(スチール製缶、ばね)、食料品(精米、小麦粉)などが低下したが、生産用機械(マシニングセンタ、刈払機)情報通信機器(ガス警報器)などが上昇した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



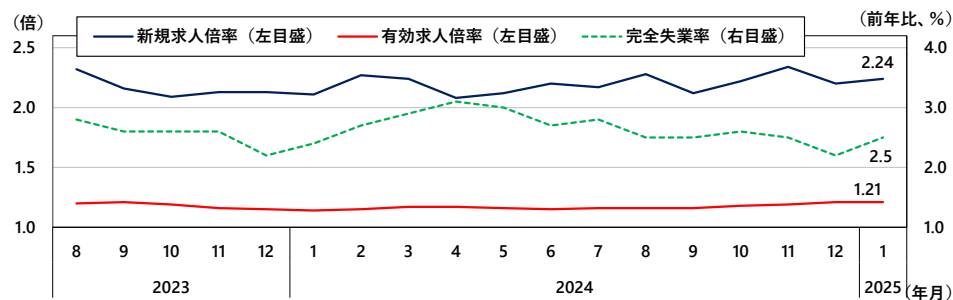
(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、93.9で前月比9.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、51.9で同4.6%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、159.2で同17.6%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、88.6で同24.4%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 食料品(同)は、99.7で同3.1%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している

前月比

求人倍率(就業地別・季節調整値)／完全失業率(南関東・原数値)



(資料) 厚生労働省、総務省

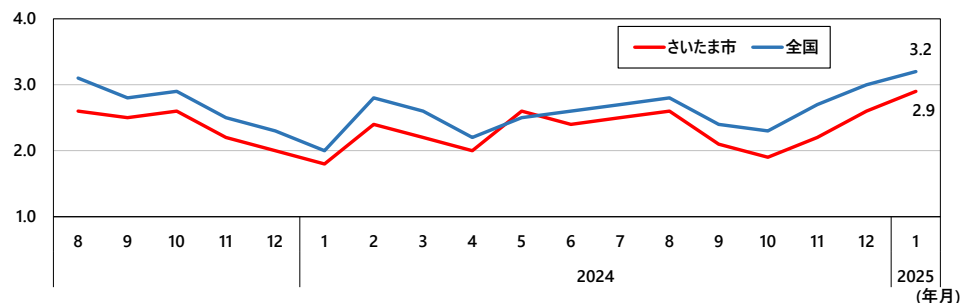
1月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.21倍で前月比横ばいとなった。新規求人倍率(同)は、2.24倍で同比0.04ポイント上昇(2か月ぶりの上昇)となった。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.1ポイント上昇した(前年同月比8か月ぶりの上昇)。

8 消費者物価 ～緩やかに上昇している

前月比

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)【前年比】



(資料) 総務省

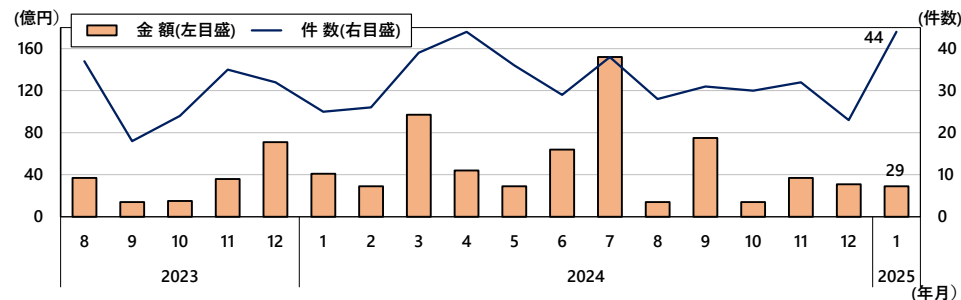
1月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、108.5で前年同月比2.9%上昇した(40か月連続の前年同月上昇)。

光熱・水道(電気代、ガス代)などが上昇し、全体を押し上げている。

7 企業倒産 ～緩やかな増加基調にある

前月比

企業倒産(負債総額1千万円以上)



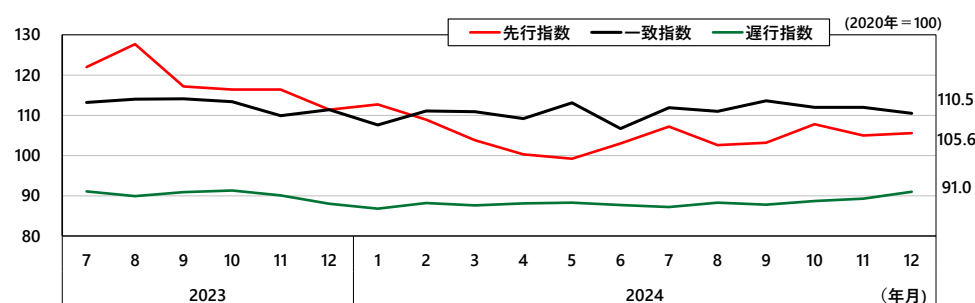
(資料) 帝国データバンク

1月の企業倒産件数は44件で前年同月比19件の増加となった。また、負債総額は29億円で同12億円の減少となった(5か月移動平均では、件数は前年比5件増加、負債総額は同2億円の増加)。

業種別にみると、建設業が最多で13件、次いでサービス業が10件、小売業が8件となっている。主因別では、販売不振が41件となっている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～下げ止まりを示している

景気動向指数(CI)



(資料) 埼玉県

- ・12月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、110.5で前月比1.5ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、105.6で同0.6ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、91.0で同1.7ポイント上昇し、3か月連続の上昇となった。